

# 地域資源を活用した木育活動の実践

熊本県立南稜高等学校 総合農業科 環境コース（林業専攻）福田明純 平野秀太郎 濱崎煌

## I プロローグ

令和2年7月、人吉・球磨を襲った豪雨災害は、地域から人も家も思い出も奪ってしまいました。大好きな故郷の“元気と笑顔”を取り戻すため、私たち林業高校生が全力で取り組んできた『がんばろう！人吉・球磨』の木育活動を御覧下さい。



令和2年7月豪雨前後の球磨川流域

## II これまでの取り組み

豪雨災害直後から、被災地域での木育活動を展開し、熊本大学やNPO法人、関係市町村と連携し「復興応援！ものづくりフェア」を開催。延べ3,000人を超える方々へ木の温もりをお届けしました。これらの活動から、**蒲島熊本県知事より『木育推進員』として17名の生徒が認定**を受け「人吉・球磨の創造的復興に、南稜生の活躍は必要不可欠！」と激励され、現在、**地元企業36社から支援**をいただく実践に発展しています。



木育推進員認定！



地域企業からの支援！

## III 研究仮説



産・学・官・民が連携した木育の実践により...

- 1 「木の良さを伝え木材利活用のきっかけをつくる」
- 2 「故郷の“元気と笑顔”を生み出す力になることができる」
- 3 「SDGsの達成に寄与できる」

## IV 研究実践

### 実践① 専門学習の深化

熊本大学教育学部

木育研究・田口浩嗣先生



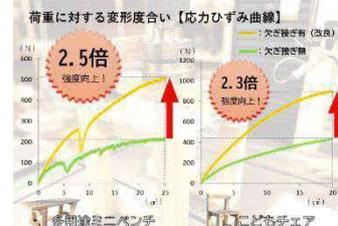
- ① 森林は公益的機能により地球環境を保全する！
- ② 木材は第2の森林となつて、挑戦を約束し続ける！

木材を使ったものづくりは**地球環境の持続可能性**を生み出し、**人々の未来を守る取り組み**につながることを認識。専門学習の理解が深まるとともに、**木育の新たな価値を発見**することができました。

### 実践② ものづくり考案



地元森林組合と共に、**木製プランター、多用途ミニベンチ、こどもチェア**の3つのものづくりプランを考案



県施設で耐荷重試験の実施

### 実践③ レーザー加工



全50パターン比較・検証  
視認性調査  
針葉樹のスギ、ヒノキ、マツに加えて、広葉樹は熊本の県木であるクスノキにレーザー加工を施し、50パターンの比較を行いました。校外外1,860件の聞き取り調査を行った結果、**視認性が最も良いのは「照射強度75、照射スピード35」**となりました。

### 実践④ ものづくり実践

オンラインツールの活用により、コロナ禍における、**ものづくり活動の可能性も拓**げることができました



世界に一つだけのものづくり

## V 実践成果

### ①CO<sub>2</sub>固定量の見える化！

九州森林管理局の協力で、私たちの木育活動がどの程度、環境に貢献できたのかを試算したところ、**約7.4tの二酸化炭素を木材中に固定**できたことがわかりました。



### ②木材利用促進！

地域の木材利活用の推進拠点になると同時に、地域の財産である**木材に新たな価値を創出し、笑顔を生み出す**ことができました。



### ③林業・木材産業への理解！

くまもと花博で実施した事後アンケートでは全員（回答者40名）が「**木材の良さを実感した**」、「**林業木材産業への興味関心が高まった**」と回答！これからも、**地域に根差し“元気と笑顔”を生み出す活動を継続**していきます。

# 和牛肥育における ミニワСПを用いた飼育環境改善 (熊本県立南稜高等学校)



音楽

ブラシ



さなぎへの産卵で  
ハエを駆除!

コルチゾールレベルの推移



ミニワСПによるサシバエ対策はストレス軽減につながるか？

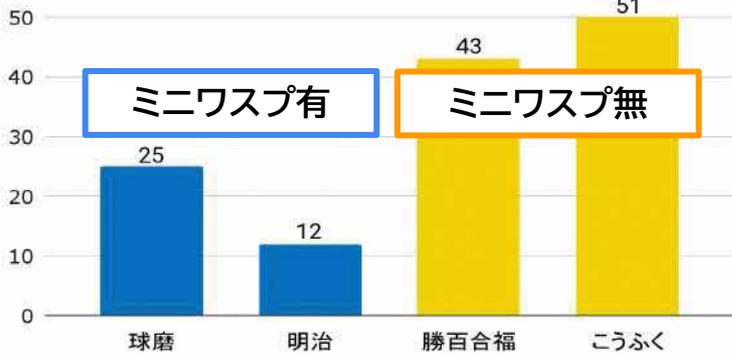
球磨

明治

吸血時に痛み  
= ストレス源

ミニワСПで駆除

忌避行動(回/10分)



ミニワСПの有無によるCORレベルの比較



ハエ取り紙

ハエ数調査

令和6年1月のと畜に向けて

血液検査

夜間監視

ミニワСП導入の課題

- 費用対効果
- 気象条件
- データ採取の難しさ など

最後の肥育! 「和牛甲子園」入賞を目指します!



# 南稜ブドウのブランディング実践活動

## 南稜高等学校 総合農業科植物コース



### I ブランディングとは？

- ・高級品・時計・バッグ・デザイナー・
- 高級食パン・太陽の卵
- ・あまおう
- 松坂牛・・・・



価格に関係なく自然と売れるシステムをつくる

### II 仮説

- 南稜ブドウのブランディングが実践できれば
- ブドウを買うための来校者増
  - ブドウ販売労力削減
  - 収益アップ
  - アグリビジネスの可能性開拓



**最終目標：球磨ブドウのブランド化**

### III 実践活動

マーケティング要素4P (Product、Price、Place、Promotion) について学習し、それぞれの要素をブランディングに生かした。単に農産物を生産・販売するのではなく、ターゲットを絞り、包装や販売形態を変えた商品を考案し、工夫した販売活動に取り組んだ。

#### Product

○シャインマスカット、ピオーネ、クイーンニーナ、巨峰を栽培。消費者ニーズの高い大粒で房形のよい高級ブドウの生産を目指す。

#### 昨年度課題の解決へ向けて

- 地球温暖化による黒系ブドウの着色不良対策として、小房づくり、房数制限を行う。
- シャインマスカットの完全無核化のため、ジベレリン・フルメットの浸漬に加えストレプトマイシン散布。



摘芽



誘引



花切り



ジベレリン処理



摘粒



袋掛け



ピオーネ



シャインマスカット



収穫

#### Price

安売りは行わず、ある程度の価格を設定することが商品価値保障、ブランディングにつながるのではと仮説をたて検証した。



#### Place

ブランディングにより顧客が購買行動を起こすことを期待し、今まで主流だった訪問販売を控え、顧客が買い求める固定販売、注文販売を実施した。



#### Promotion

着色不良ブドウでレーズンを製造、地域製パン店で南稜ブドウパンとして販売、レストランシェフにはレーズンジェラートを提案していただき、南稜ブドウを地域に広げた。また、小学生対象ブドウ栽培教室等実施で南稜ブドウのプロモートを幅広く行った。



### IV 成果と課題

#### (1) 成果

- シャインマスカット無核化、ピオーネ着色が改善された。
- ブドウ購買のため地域の方が来校するようになった。
- 贈答用箱入りブドウの販売数が大幅に増えた。(静岡、山口、沖縄等他県への発送された顧客もいた。)
- 販売労力と販売時間が大幅に削減された。
- ターゲットを絞った販売が成功し、農業経営に関心が持てた。
- レーズン製造やブドウ栽培教室を通じて南稜ブドウを広くPRすることができた。



ブドウの品質向上  
ブドウ売り上げ大幅アップ  
南稜ブドウの知名度アップ



ブランディングへ前進



#### (2) 課題

- 顧客が求める十分な数量を生産できていない。
- 温暖化による着色不良房の発生。
- 老齢樹の更新。
- シャインマスカット全国的供給量増による価格暴落の恐れ。



- 人吉・球磨地域ブドウ農家との連携・協働
- 「マイ・ハート」等新品種の改植

